

くけい水路



擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

特長・ポイント

設計条件

設計荷重はT-25縦断の輪荷重※に対応しています。また、国土交通省 近畿地方整備局 設計便覧第3編 道路編に準拠しています。（※施工時荷重（フィニッシャー等）も考慮しています。）

経済性

「くけい水路」は円形水路や蓋付開水路と比較（当社比）して30%以上も高さが低く、開削トンネル等の側溝に用いれば、底版面を浅くすることが可能になり大幅な工費節減ができます。

ラインアップ

「くけい水路」は基本タイプと脚付タイプそして監視員通路縦壁付タイプの3種類をご用意しました。

- 基本タイプ：BOXトンネルや横断BOXの側溝に有効です。
- 脚付タイプ：BOXトンネルで浸透水がある場合に有効です。
- 監視員通路縦壁付タイプ：くけい水路に壁を付けたもので、監視員通路として使用できます。また、一体型なので工期短縮に貢献できます。

排水性

路面排水の呑口は排水実験により、十分な排水能力を確保しています。

メンテナンス

十分な排水能力をもつ独立した呑口を一定間隔で設けてあるので粗大ゴミ等の落下が防止でき高圧洗浄車による洗浄作業の効率化が期待できます。

止水性

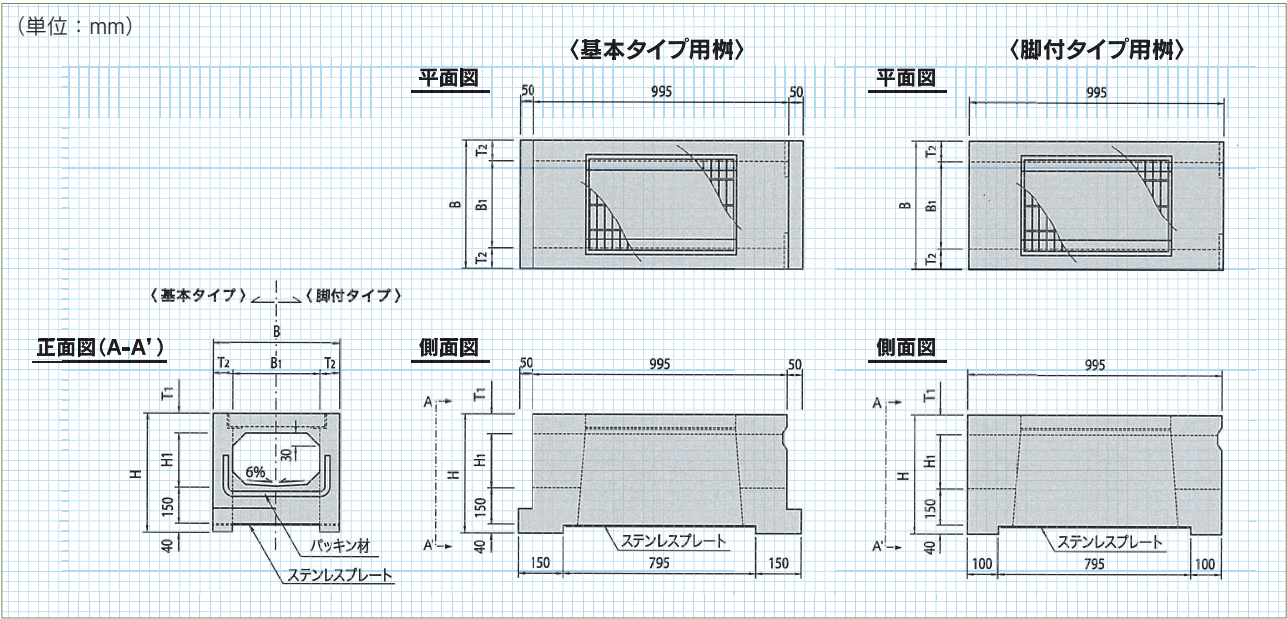
目地部分にはパッキン材を使用しています。また、基本タイプ及び脚付タイプにはジョイントピンと凹凸構造を一体化させたジョイントピン工法を、壁付タイプにはボルトによるジョイントを採用し止水性を高めています。

施工写真



樹

製品寸法図

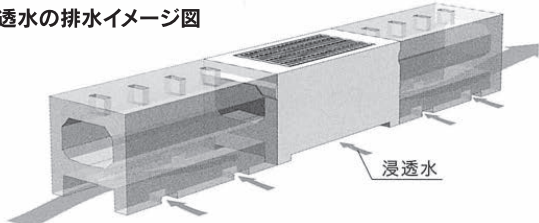


製品寸法表

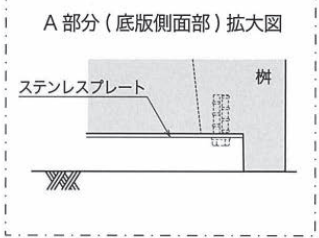
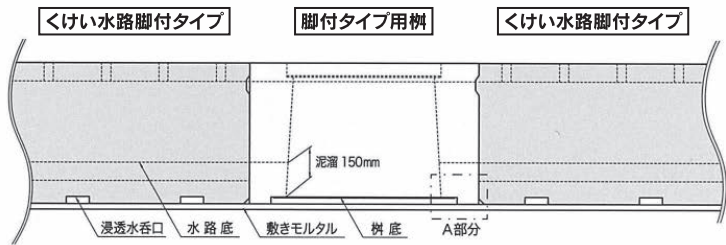
呼び寸法	外 幅	内 幅	外 高	内 高	厚 さ		円形水路対応寸法	参考重量(基本タイプ)	参考重量(脚付タイプ)
B1×H1	B	B1	H	H1	T1	T2		(kg)	(kg)
220×130	380	220	400	130	80	80	Φ200相当	205	200
320×200	480	320	470	200			Φ300相当	248	238
420×260	580	420	550	260			Φ400相当	323	315
520×320	720	520	610	320	100	100	Φ500相当	485	460
630×380	870	630	690	380			Φ600相当	585	555

脚付タイプの配置例

浸透水の排水イメージ図



脚付タイプの水路及び樹は、下部に切欠を設けて水路及び樹を貫通する通水断面を確保しました。これにより、ボックス内の浸透水を効率よく排水することができます。



参考歩掛

工種	呼 び 寸 法	規 格	単 位	数 量		
				220×130(φ200相当)~420×260(φ400相当)	520×320(φ500相当)	630×380(φ600相当)
掘 付 工	くけい水路(基本・脚付タイプ)	L = 2m	本	5		
	世話役		人	0.3	0.4	0.5
	特殊作業員		人	0.2	0.3	0.4
	普通作業員		人	0.6	0.9	1.2
	バックホウ(クレーン機能付)運転	クローラ型 クレーン機能付 2.9t用	日	0.3	0.4	—
	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	—	—	0.6
	基礎砕石費率		%	21		
	諸雑費率		%	17		

(注)
・国土交通省土木工事積算基準H23年度版 管(函)渠型側溝 準拠。
・歩掛りは、運搬距離 30m程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋め戻し、残土処理は含みません。
・基礎砕石費、諸雑費は、労務費とバックホウ(クレーン機能付)またはクレーン運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上してください。
・基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を平均としており、これにより難しい場合は別途計上してください。
・基礎砕石費は、材料の種別・規格に関わらず適用できます。

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

